

朝まだき 鹿と競ひて 縄文の

とゆけおおかみ

小栗分け合う 豊受大神

令和三年九月五日

大中臣正比呂



一万六千年前から縄文時代と言われる食文化は、決して「原始時代」ではない。海所幸、山の幸も豊かで、農耕もあったのだと思う。自然に分け入る生活から、自然から距離を置いて共生し、豊かな文明を築いてゆく時代に今はなったのだ。筆者が住む神社境内の栗は、少なくとも千三百年前から代を継いでいる。